

新任の金子謙二です

金子 謙二
KANeko Kenji

(一社)日本非開削技術協会
事務局長



2021年10月より、事務局長となりました金子謙二です。10月27日に開催されました第32回非開削技術研究発表会で、一部のみなさまにはお目にかかりましたが、今後、当協会の活動を通じて、多くのみなさまにお世話になりますので、どうぞよろしくお願いたします。

事務局長就任にあたり、簡単に自己紹介をさせていただきます。前任と同様に東京電力パワーグリッド(株)からの赴任となりますが、電柱や電線など、電力系統の中でもお客さまに近い設備を扱う部門で、電気関係の業務を中心に20年近く従事して参りました。入社後数年は電柱に登って作業をするなど、地面の下よりも電柱の上を見ながら仕事をしておりました。

電線共同溝などに代表されるような、電柱や電線の地下埋設といった小さな規模の土木工事にかかわる業務の経験はありますが、大半は開削工事であり、非開削技術とは縁遠い道を歩んで参りました。今後、事務局での業務を通じながら非開削技術についての理解を深めて参りたいと思います。

業務経験以外に、趣味のご紹介もさせていただきます。中学校の部活動で始めたクラリネットを今でも続けて30年以上となります。

現在は都内の市民オーケストラに所属し、年2回の定期演奏会と、年末の第九の演奏会に出演することが楽しみとなっています。

しばしば家族や友人を演奏会に招待しますが、さほどクラシックに興味がない方でも、コンサートホールに出かけてオーケストラの奏でるクラシック音楽を聴く、という非日常的な経験を愉しんで頂けることも多いようで、モチベーションのひとつとなっています。

昨今のコロナ禍においては、大勢が集まって楽器を演奏するオーケストラの活動は大きな制約を受けることとなり、演奏会はもちろんのこと、練習することすらできない状況となっております。

そのような中でも演奏活動を継続することを模索し、少人数でのアンサンブルや、カラオケのように伴奏音源を用いた独奏を愉しんだり、演奏を動画撮影してYoutube等で公開して仲間と共有するなど、これまであまり着目しなかったことに取り組んだ結果、演奏活動の楽しみ方の幅が広がる機会にもなったように思います。

「為せば成る」「継続は力なり」「ピンチはチャンス」などと言われますが、さまざまな障害や困難があろうとも、さまざまな創意工夫で乗り越えることができ、さらなる高みを目指すこともできるもの、と勝手に納得しています。

丸腰、裸一貫の状態では非開削技術の世界に飛び込んでまいりましたが、事務局の活動にも意欲をもって取り組み、会員のみなさまに向けた情報発信や交流機会など、様々な場面でお役に立てるよう努めてまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



退任のご挨拶

角川 順洋
KADOKAWA Yoshihiro

東京電力パワーグリッド(株)
東京総支社東京地区総括担当
道路設備渉外総括グループマネージャー



2021年9月30日をもって事務局長を退任いたしました角川でございます。

退任にあたりまして、ご挨拶をさせていただきます。

2018年7月1日より3年3か月の間、皆様からのご支援とご協力のもと、その重責を勤めることができましたことを心より感謝申し上げます。

在任期間を振り返りますと、皆様へ従来の行事に加え、海外研修、体験式講習会など魅力ある行事を行うことができ、活気に満ちた3年3か月だったと思います。

しかし、在任期間の半分以上は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことは、協会を運営する立場として残念な思いもありました。そのような状況でも、Webを利用した行事開催を導入

し、日本全国の会員がJSTT行事へ参加できるようになったことは、会員同士の繋がりを深め、今までにはない盛り上がりもあったのではないかと思います。さらに講演会、研究発表会などの主要行事の開催にあたり、多くの会員の皆様よりご協賛をいただくことで、活発な運営ができましたことも大変ありがたく嬉しく感じております。このご協力により、新たに必要となったWeb配信の整備や感染対策の整った大規模な会場を借用することが可能となり、伝統ある研究発表会、講演会を中止することなく万全の体制で開催することができました。コロナ禍という逆境でも、留まることなく協会活動を活発に継続していくことで、会員の皆様からも魅力ある協会と認めていただけるものと認識できました。

今後もJSTTは、伝統ある従来の事業をしっかりと遂行したうえで、変わりゆく社会情勢に際して、常に新しい変化、改善が求められてくるものと思います。JSTTのさらなる発展を心から願っております。

10月1日から後任で私と同じく東京電力PGより金子謙二が事務局長職を引き継いでおります。これからは変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私も事務局長は退任しましたが、会員の立場で、大好きなJSTTを皆様と一緒に盛り上げていく所存です。これからもお目にかかる機会が多くあるかと存じますが、引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。